



相模原 元気に・明るく・楽しく自己研鑽

相模原市青少年指導員連絡協議会 副会長 齊藤 一城

相模原市青少年指導員連絡協議会（以下、「連協」）は総勢約250人の規模であり、元気に・明るく・楽しく・安全に！をモットーに日々活動しています。大きな事業（市民桜まつり、スポーツフェスティバル、親子ふれあいの広場等）は連協一丸となって活動し、各地域での事業は27ある地区協議会単位で活動しています。

連協全体事業の一つとして青少年指導員の研修会も年2～3回企画されており、従来は市行政が企画推進し、受講する形が主体でしたが、今年度は連協の研修部が、自ら研修課題を見つけ、それを連協全体に展開しようとチャレンジを始めました。

見つけた課題は、いじめ問題などが溢れる中、思いやりのある事業をやりたい、子どもたちの「思いやり」の心を育てていく方法を知りたいということでした。そこで選んだのがイニシアチブゲーム。課題を解決していく過程での協力の仕方やコミュニケーションのとり方、信頼関係の作り方等がゲームを通して習得できると考えました。

実行にあたって、県の地域活性化事業と連携し、県指導者育成課より講師を派遣していただき、昨年11月と12月に研修部メンバーが研修を受講しました。

研修中は皆真剣そのもの。最初は堅かった動きも

徐々にほぐれ、2回目には和気あいあいとゲームに取り組んでおり、この調子で、子どもたちに接していけばうまくいくという手ごたえも感じたようです。この記事が皆さんの目にとまる場所に研修部メンバーが講師となって全体研修を開催します。

これを通して相模原連協全体が活性化し、メンバーのスキルアップが図れることを期待しています。

今回協賛いただいた県指導者育成課には大変お世話になりました。御礼申し上げます。



イニシアチブ研修の様子



湘南

青少年育成のつどい

茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会 会長 松本 陽子

「青少年育成のつどい」は、青少年の健全育成の大切さを広く市民の皆さんにお知らせすることと地域の青少年活動の活性化を目的に、茅ヶ崎市から委託を受け、企画し開催しています。平成16年度より、「中学生に地域のことを知ってもらいたい、地域に関心を持ってもらいたい。」と考え、市内公立13中学校にご協力いただき、いろいろなテーマで開催してきました。発表までの各中学校での話し合いには、青少年指導員全員がかかわっています。その中で中学生との接し方や中学生の考え方を知ることができ、研修の場にもなっています。

今年度は、平成29年1月14日（土）茅ヶ崎市文化会館小ホールで、「私たちの学区自慢」をテーマに中学生がグループ発表をしました。茅ヶ崎市は、南には海があり、北には丘陵地が広がりまだまだ田園風景も見られ、あまり広くないまちですが、各地域に特色があります。中学生が住んでいる地域の良いところを見つけ、寸劇や映像など自分たちの表現方法で発表しました。

名所や名物もありましたが、中学生が参加している地域の行事、学区がきれいなこと、地域にある施設、地域で活動している人、伝統の継承、地域のつながりなど、中学生の目線ならではの発表でした。私たちは、中学生が自慢に思っていることを大切に、地域の皆さんと地域づくりをしていきたいと思ひます。

